

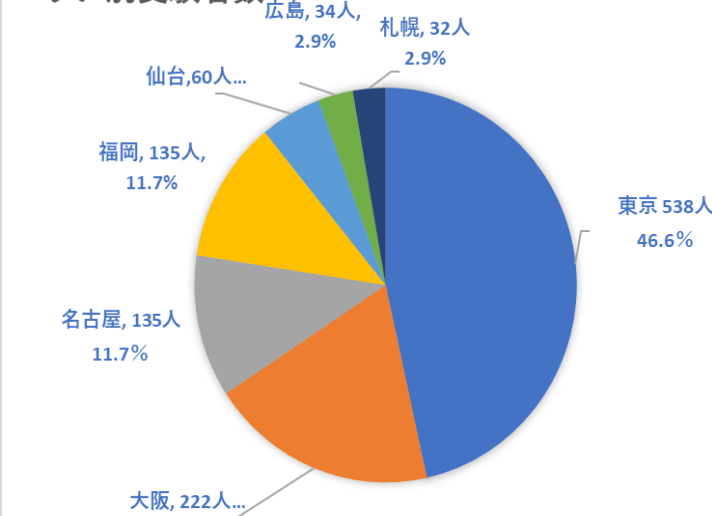


2017 公認ホームインスペクター受験者速報

日本におけるホームインスペクション（住宅診断）の普及と、ホームインスペクター（住宅診断士）の育成・スキルアップを目指すNPO法人日本ホームインスペクターズ協会（東京都新宿区：理事長／長嶋修）では11月12日（日）に、9回目となる公認ホームインスペクター資格試験を実施、申込1,346名に対し1,156名と今年も数多くの方が同試験を受験しました。

第三者によるホームインスペクション（住宅診断）の普及と診断士育成を行っている同協会では、年々消費者のニーズが高まるホームインスペクションの良質な担い手を育成するため、同協会が定める診断項目や基準において資格試験や講習を毎年実施しています。今年は事前の試験対策講習受講者が大幅に伸び、関心の高さが伺えます。

エリア別受験者数



資格試験2017の特徴

● エリア別受験者の割合は、東京が過半数に近い割合

東京の受験者が全体の46.5%と、東京集中の傾向がある。業法改正をにらみ、宅建事業者による建物知識獲得への関心が東京を中心に高まりつつある傾向。

● 仙台エリアが他都市に比べ多い受験者数

札幌や広島よりも多い受講者数は、東北で住宅着工数が高水準で推移していることが背景と推測される。今後のインスペクション需要の高まりに期待したい。

● Web 受講者数の増加

試験対策として、Webを通じての「試験対策講座」の受講数が昨年366人に対して、今年は418人と大幅に増加。参考図書や過去問題集などによる独学に加え、受講者の合格への意欲がうかがえる。



■ NPO法人日本ホームインスペクターズ協会とは ■

ホームインスペクションとは、住宅の劣化状況、欠陥の有無、改修すべき箇所やその時期、おおよその費用などを見極め、アドバイスする住宅診断のこと。欧米では利用が常識となっています。当協会は、ホームインスペクションの技術基準を明確化するための公認資格試験の実施、ホームインスペクター（住宅診断士）育成・スキルアップのための講習や診断履歴の蓄積（国土交通省長期優良住宅先導的モデル事業採択）を行う民間団体で、2008年4月に設立、2009年2月にNPO法人登記。2009年から公認ホームインスペクター資格試験を毎年1回実施しており、昨年の試験では1,714人が受験、523人が合格しました。（合格率30.5%）。認定会員数は1,428名です。（2017年10月31日時点）。